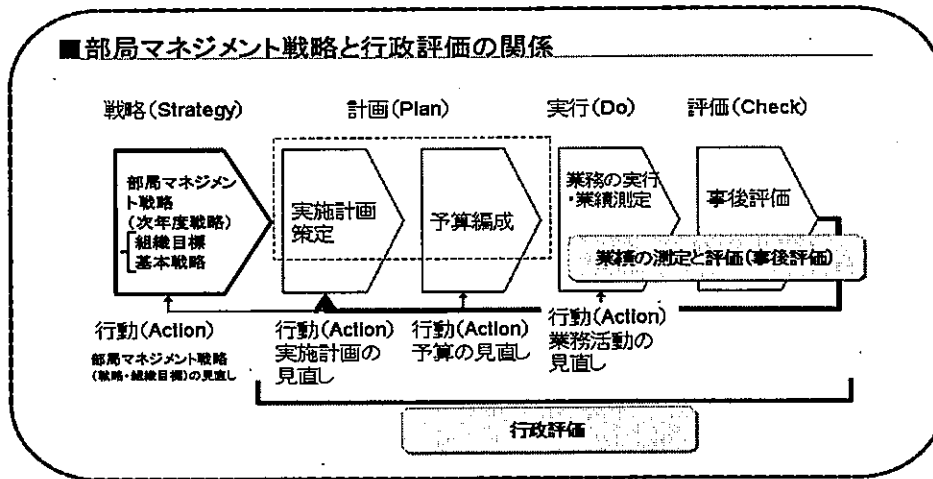


■八尾市のマネジメントサイクル(PCDAサイクル) ※第10期実施計画期間でのマネジメントサイクル

- ①部局マネジメント戦略の立案(令和元年6月中)
- ②実施計画策定方針の決定(令和元年7月下旬) … P(計画)
- ③実施計画策定及び予算編成(令和元年8月～令和2年1月) … P(計画)
- ④予算議案の提案(令和2年3月市議会定例会)
- ⑤部局マネジメント戦略の確定(令和2年) … D(実施)
- ⑥予算の執行 … D(実施)
- ⑦施策及び事務事業の事後評価(令和3年) … C(評価)・A(改善)



5. 第10期実施計画 策定における観点について

第10期実施計画においては、すべての人に光があたり、市民一人ひとりがその人にとっての「しあわせ」を実感できるまち八尾をめざし、市民最優先の視点から、生まれてから生涯を終えるまで、市民の人生に寄り添い、未来に夢をもつことができるまちづくりを進めます。

このような考え方のもと、市民と一緒に八尾を変え、八尾の将来、さらには、子どもたちの将来にも責任を果たしていく、「八尾新時代」を創造するために、「次世代を担う子どもたちが大切にされるまち」、「つながりの豊かなコミュニティがあるまち」、「にぎわいと活気にあふれるまち」、「命を守り安全で安心して暮らせるまち」、「いきいきと活気にあふれる『健康都市やお』」、「地域分権時代にふさわしい持続可能なまち」という6つの成長戦略に基づく取り組みを重点化し、八尾の成長のさらなる加速をめざし取り組みます。また、第5次総合計画の最終年度にあたることから、平成30年度(2018年度)に実施した「八尾市総合計画審議会」における第5次総合計画の総括等の意見を踏まえ、「めざす暮らしの姿」の実現に向け、注力すべき取り組みを重点化し取り組みを進めます。

本計画の策定にあたっては、「社会情勢・動向への注視」、「市民意識の状況」、「財政運営の今後の方向性」、「行財政改革の推進」等を意識して、戦略的で実効性のある総合計画の推進を行うべく、限られた行政資源を効率的・効果的に資源配分する「行政経営」の理念により、施策及び事務事業レベルでの行政評価を反映し、重点施策を定めました。

なお、第1章の「施策の展開方針」及び第2章の「施策構成事務事業計画概要」において、重点に該当する施策及び取り組みについては、「重点該当欄」に「○」でお示ししています。